

今後の活動紹介

消費者ネットワークわかやま啓発講座
気をつけよう！
インターネットトラブル
 ーワークショップで考え、防ごー

日時：2025年11月8日(土)
 13：30～15：00

講師：和歌山県消費生活センター相談員
 大串 和加子さん

場所：情報交流センター Big・U
 会議室2(田辺市)

参加：無料

※詳細は消費者ネットワークわかやまホームページ
 にてご案内しています。

第35回生協大会

日時：2025年12月4日(木)
 13：30～16：00

記念講演 南海トラフ地震に備えるin和歌山

講師：矢守克也氏

学術修士/博士(人間科学)

京都大学防災研究所 副所長

場所：わかやま市民生協本部2階

E*KAOホール

(和歌山市太田三丁目10-10)

参加：無料

※詳細についてはホームページにて、ご案内します。

ホットな消費者見守りニュース100号

～消費者被害にあわないための最新情報をお届けします！～



アドバイス

- 警察官などを装ったウソの電話で、お金をだまし取ろうとする「詐欺」に関する相談が、多数寄せられています。
- 電話番号の末尾に「0110」を使い、警察署の電話番号を装って信用させ、「あなたの銀行口座・携帯電話が犯罪に利用されている」「このままだと逮捕される」などと言って不安をあおり、個人情報聞き出そうとしたり、お金をだまし取ろうとしたりするため、注意が必要です。
- 電話で「お金」の話になったら詐欺を疑い、電話を切りましょう。少しでも不安を感じたら、消費者ホットラインや警察(☎#9110)に相談しましょう。

和歌山県消費生活センター

和歌山市手平2丁目1-2
 県民プラザ和歌山ビッグ愛8F
 電話：073-433-1551
 FAX：073-433-3904
 (月～金)9:00～17:00
 (土・日)10:00～16:00(電話相談のみ)
 (祝日・年末年始を除く)

和歌山県消費生活センター 紀南支所

田辺市朝日ヶ丘23番1号
 県西牟婁総合庁舎内
 電話：0739-24-0999
 FAX：0739-26-7943
 (月～金)9:00～17:00
 (祝日・年末年始を除く)

※短縮ダイヤル☎188でもお近くの
 相談窓口につながります。

協同組合がよりよい社会を築きます

和歌山中央医療生活協同組合・わかやま市民生活協同組合・和歌山県学校生活協同組合・和歌山県労働者共済生活協同組合
 オレンジコープ(泉南生活協同組合)・紀の国医療生活協同組合・和歌山大学消費生活協同組合・和歌山県立医科大学生活協同組合
 和歌山高齢者生活協同組合・メルスィー生活協同組合・生活協同組合コープ自然派おおさか

和歌山県

生協連ニュース

No.24



和歌山県生活協同組合連合会
 TEL.073-474-9095 FAX.073-474-8649
<https://www.wakayamakenren.jp/>



2025年度の活動紹介

和歌山県生協連第35回通常総会を開催しました

6月25日、わかやま市民生協E*KAOホールにて和歌山県生協連第35回通常総会を開催しました。代議員の出席は、実出席22人、書面出席13人でした。通常総会は、野口理事による開会宣言のあと、阿部会長理事の挨拶ではじまりました。続いて、ご出席いただいた7名のご来賓より、和歌山県環境生活部生活局長の横畑和幸様、和歌山農業協同組合中央会専務理事の前田年史様、和歌山県労働者福祉協議会常務理事の元木幹雄様、日本生協連関西地連事務局長の村上毅様よりご挨拶をいただきました。また、祝電・メッセージを各団体、全国の各生協・生協連から41通いただき、代議員に配布し紹介しました。全議案を賛成多数で可決し、2025年度の活動方針や予算、新役員体制が決まりました。

【新役員体制】

会長理事 阿部 秀二郎(和歌山大学消費生活協同組合 理事長)
 副会長理事 久保田 泰造(和歌山中央医療生活協同組合 副理事長)
 専務理事 中井 勝也(わかやま市民生活協同組合 理事長)
 事務局長 田淵 久幸(わかやま市民生活協同組合 常務理事) ※新任



国際協同組合年



役職員研修会で賀川記念館・人と防災未来センターを訪れました。

5月8日、毎年恒例の役職員研修会で神戸市にある賀川記念館と人と防災未来センターを2生協9人で訪問しました。

賀川記念館では、田中参事より講演いただきました。参加者からは「賀川豊彦さんが行なった協同組合運動や貧民救済活動などが現在も残り続けていることに驚きましたが、世界にも名前が残っていることに更に驚きました。記念館で生協の成り立ちを学びました」などの感想がありました。

人と防災未来センターでは、被災者の末吉正和さんより40歳の時被災した体験談を聞きました。危険が迫ったら家族を残してでも逃げることでその後救出する人になれるなどを学びました。



和歌山大学寄附講義

和歌山県労働者福祉協議会が進める「2025年度和歌山大学経済学部寄附講義」に、和歌山県生協連として3講義を受けもち、以下の内容ですすめました。いずれも40人以上の学生が参加し、生活協同組合について学んでもらえるよい機会となりました。

6月12日(木) 日本協同組合連携機構(JCA)「協同組合の基礎知識」

6月19日(木) わかやま市民生協「生協の社会的役割の発揮」

6月26日(木) 和歌山中央医療生協「医療福祉生協入門」



役職員研修会「監事研修会」で監事の職務と責任について学びました

7月8日、会員生協の役員や監事の職務と責任について学ぶ機会として監事研修会を開催しました。和歌山県県民生活課より毎年実施されている指導検査の結果から、近年検査で指摘した事項について、生協法などに抵触する事項や、定款に抵触する事項など事例をもとに解りやすく説明いただきました。さらに、日本生協連法務部より「業務監査の考え方と実際」をテーマに業務監査の考え方や監事監査の内容について学びました。

和歌山県 生協連合会の 会員生協2024 活動紹介

* 数値は2025年3月現在
* 泉南生協、コープ自然派おおさかは、和歌山県内の数値です。



和歌山中央医療生活協同組合

■組合員数:23,408人
■総事業高:3,960,997千円
■住 所:和歌山市有本143-1

和歌山中央医療生協は、地域の実情をふまえた医療・福祉事業の強化をすすめるとともに、「誰もが健康で居心地よくらせるまちづくり」に取り組んでいます。

2024年度も、各地で「無料まちかど健康チェック」や多彩なサークル活動が広がり、平和まつりやバスツアーも実施しました。また、46室のサ高住と特養、通所リハ、放課後等デイサービス施設を備えた複合施設「生協ありもと」が完成し、地域に根ざす新たな事業活動もスタートしています。



和歌山県学校生活協同組合

■組合員数:8,136人
■総事業高:90,826千円
■住 所:和歌山市湊通丁南1-6-2
イクシアわかやま 1階

和歌山県学校生協は、県内の公立学校の教職員のために、より良い商品を安く提供し、教職員のくらしと教育活動をサポートするために、チラシ媒体による供給事業と生活全般に渡るサービス関連事業等を行っています。学校生協の利用者が減少しているため、今年度は学校生協の事業を知ってもらうために、長期休業中を利用して職場訪問し、できるところでは事業説明会も実施しています。今後とも教職員の教育活動やライフサポートを中心に行っていきます。



和歌山大学消費生活協同組合

■組合員数:4,552人
■総事業高:404,301千円
■住 所:和歌山市栄谷930

和歌山大学生協では、学生自身が理事や監事として運営に関わる「学生委員会」が活動しており、大学祭や新入生歓迎イベントなどを行っています。学生の「こんな大学生活にしたい」という声を大切に活動をしています。

また大学と連携したオリジナル商品の展開、地元食材を活用した食堂メニューの提供など、大学と地域社会をつなぐ取り組みにも力を入れています。これらの取り組みを通して、地域の活性化と学生の学びを推し進めています。



和歌山県立医科大学生活協同組合

■組合員数:1,749人
■総事業高:213,094千円
■住 所:和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学生協では、学生・教職員の皆さまの学びと生活を支えることを目的に、多様な事業を展開しています。組合員一人ひとりの声をもとに、医科大学ならではのニーズに応じた取り組みを行っています。

教材販売では医学部特有の医書や専門書（電子書籍含む）を、組合員価格(約10%ポイント還元)にて提供しています。

食生活のサポートでは、学内の食堂で、栄養バランスに配慮した健康的な食事を週替わりで提供しています。



和歌山高齢者生活協同組合

■組合員数:4,057人
■総事業高:383,867千円
■住 所:和歌山市直川565-7

「人生の完成期、輝いて生きる！」を掲げ、地域で高齢者の居場所づくり活動や、身の回りのお困りごとに対応するお助け隊活動、介護、障害福祉事業に取り組んでいます。

設立から25周年を迎え、今年度5月には海南市に新たな組合員活動拠点「日方はっぴ〜庵」がオープン。昨年度好評だった組合員活動が一堂に会するイベント「高齢協フェス」を、今年度末にも計画しており、地域で輝く高齢者を増やしていきます！



和歌山県労働者共済生活協同組合

■組合員数:88,896人
■総事業高:8,232,229千円
■住 所:和歌山市美園町5-10-3

和歌山労済（こくみん共済 coop 和歌山推進本部）は、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念のもと、幅広く共済事業を展開しています。

2024年度は、7才の交通安全プロジェクトの取り組みとして「横断旗3,714本」を寄贈し、こどもの成長応援プロジェクトの取り組みとして「なわとび・長なわ計150本」を寄贈しました。引き続き、2025年度もこどもの安全・成長を応援する取り組みをすすめていきます。



わかやま市民生活協同組合

■組合員数:100,633人
■総事業高:13,821,350千円
■住 所:和歌山市太田三丁目10-10

わかやま市民生協では、組合員（県民）のくらしに貢献することをめざし、行政や団体と連携し、和歌山県社協と協定を締結し子ども食堂への食材などの寄贈。地域の課題の解決に協力していくためこれまで、橋本市、紀の川市、由良町、御坊市と包括連携協定を結びました。

終戦・被爆80年を迎え、核兵器はいるらない、平和を継承していくことが難しい中、次世代を担う子ども達に継承するためにヒロシマピースツアーや平和の映画祭を開催しています。



紀の国医療生活協同組合

■組合員数:1,235人
■総事業高:443,766千円
■住 所:和歌山市今福2-1-16

紀の国医療生活協同組合は創立以来、組合員はもちろんのこと、地域住民への医療と福祉の提供を中心とした事業を行っています。

その他、先月より組合員の皆さま向けの陶芸教室を新たに月2回の頻度で実施しています。

まだ始まったばかりですが、こじんまりとした小さな規模ながらも職員や地域の組合員からも好評を得ており、年末の恒例行事と共に続けていきたいと考えてます。



泉南生活協同組合

■組合員数:1,740人
■総事業高:688,410千円
■住 所:大阪府泉南市信達岡中1489-10

■オレンジコープが運営しているサービス付き高齢者向け住宅は和歌山市弘西にある「おひさま」「おひさま東」と泉南郡熊取町新野田の「おひさま熊取」が常に満室の状態。介護付き住宅は和歌山市弘西の「みのり紀伊」、阪南市の「みのり阪南」、貝塚市の「みのり貝塚」、堺市の「みのり堺」が90%以上の入居率を維持しています。質の高いサービスや美味しい食事が多くの入居者に支持されています。

■現在、阪南市に4棟目のサービス付き高齢者向け住宅「おひさま阪南」が建設中。2026年3月竣工予定。全71室で和歌山市の「おひさま東」と同じ部屋数になります。

■入居者の食事や社会福祉法人野のはなが運営しているレストラン、喫茶店で使う野菜はほとんどが市販品です。それを生産者の顔が見える野菜に切り替える取り組みを進めています。具体的には新たに泉南市や岩出市など近隣の若い生産者を増やしたり、貝塚市にある森の小径の畑を拡げています。今年から米作りにも挑戦しています。



写真はこの夏販売したすいかです！

メルスィー生活協同組合

■組合員数:6,208人
■総事業高:527,956千円
■住 所:和歌山市湊1850番地

日本製鉄/関西製鉄所を母体とする「職域生協」で、製鉄所構内の皆さまのために、構内職域売店9店舗(和歌山-7店、海南-1店、堺-1店)にて事業運営しております。約6,500名の組合員の皆様方に支えられ、2027年2月に75周年の節目を迎える予定です。

売店では、飲食物品（お弁当・ドリンク・お菓子等）の他、日用品や構内安全具など必需品を取り扱っているほか、季節の果物なども取り揃えております。

夏季は各職場や協力会社向けの、熱中症対策ドリンクの供給（配達）で忙しくしているほか、各種イベント（BBQ、ボウリング大会、ゴルフコンペ、餅つき）商品もオーダーメイドで供給しています。

製鉄所の皆さんに「どうしても必要とされる」生協を目指して頑張っています。



生活協同組合コープ自然派おおさか

■組合員数:9,964人
■総事業高:1,220,597千円
■住 所:和歌山県和歌山市岩橋998
(本部：大阪府茨木市島1丁目12-37)

コープ自然派おおさかは、食の安心・安全と農業を次の世代へとつないでいくために「国産派宣言」を掲げ「誰もが有機農産物を食べることができる社会づくり」をめざしています。「学校給食にオーガニック食材を」という取組や支援が必要な家族や施設を対象に食材をお届けする取り組み「子ども笑顔基金 プロジェクト」も引き続き継続し実施しております。